

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域 の課題	02 青少年の 健全育成	子どもの社会性・自主性・創造性を育むために、地域に根差した様々な体験や学びを得られる場が必要であるが、核家族化、人口減少等の影響により地域活動が衰退し、子どもたちが学校学習以外の学びを得られる機会が少なくなっている。	体験学習教室の実施（年間20回開催）	多くの子どもたちが参加してくれており、学びを得られているようである。引き続き同様の教室を開催するとともに、多様な体験ができるよう、前年度と内容をいくつか変更し実施した。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	各教室における参加者の割合（各教室につき10～30人の定員を設けている）	87	%	90	85	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。地元から講師を招き、地域の伝統文化（藍染・加波山囃子等）や昔からの遊び、スポーツ、理科教室等、学校の授業にはない、地域に根差した様々な体験ができる教室を開催することで、子どもたちの地域への興味や理解を高め、次世代を担う子どもたちの育成に繋げることができた。年4回に分けてまとめて募集を行っているが、申込から開催日まで期間があり、忘れられてしまうことがある。また、定員に満たない教室もあるため、次年度は直前での連絡と、魅力を感じるような広報を行い、より多くの児童の参加に繋げていきたい。